



### ～ビオトープにて稲刈りを行いました～



10月12日(金)学内にある植草共生の森(ビオトープ)で稲刈りと天日干しを行いました。

当日は、植草学園大学附属弁天こども園の園児と保護者、地域の園児や小学生

も参加し、みんなで楽しみながら行うことができました。

この稲は5月に田植えをしたものでした。大きく成長し、立派に青々と茂っていました。大人たちが鎌を持ち、子どもたちが刈った稲をせつせと運び、大人が紐で束ね、終始にぎやかな声が共生の森に響き渡りました。みんなで協力して行ったため、稲刈りはあっという間に終わりました。普段できない体験に子どもたちは「早く餅つきして食べたい！」と次なるワクワクを抑えきれずにはしゃいでいました。このよう



に自然を通して子どもたちと関わることで、さまざまな発見や刺激を得られることを改めて感じました。自然があり、食べ物や動植物があること、そしてそれらを愛すること、そして自分があること、そんな面白さを子供たちに教えてあげられる保育者になりたいと思いました。



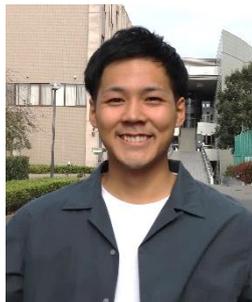
大学 発達教育学部 発達支援教育学科 4年 鈴木 蛍  
千葉県立茂原高等学校 出身

### ～卒業生からのメッセージ(理学療法士)～



国家試験対策は、同じ理学療法士をめざす仲間と切磋琢磨し勉強しました。試験内容は膨大で決して楽なものではありませんでした。しかし、仲間たちと辛い時には支え合い、嬉しい時には共に喜び、卒業までとても充実した4年間を過ごすことができました。今でも大学時代の仲間たちは宝物です。無事に国家試験に合格できたのは、支えてくださった多くの先生方や家族、そして共に頑張った仲間たちがいたからだと思います。

私は現在、病院に勤務しています。病院には身体にさまざまな障害を負った患者様がいます。大学で学んだことを生かして、患者様が自宅で安全に過ごせるようにリハビリしていきたいです。



大学 保健医療部 理学療法学科 7期生 石橋 弘次  
千葉県私立東海大学付属市原望洋高等学校 出身

### ～子育て支援・教育実践センター運動会を開催しました～



私たちのゼミでは、子育て支援・教育実践センターの運動会を企画し実践をしました。

自分たちで題材を決めて、企画を考える活動は初めてだったので、戸惑うこともありましたが、全員で協力して準備をし、無事に本番を終えることができました。一番大変だったことは競技を

考えることです。「アンパンマン」を題材にしてどのようなストーリーにしていくなか、また子どもたちが「アンパンマン」の世界を味わえるにはどうしたらいいのか、などを考えながら競技を企画していきました。

私は、当日の司会と実況を務めました。本番は子どもたちと保護者の方を笑顔で迎えるところから始まり、子どもたちの緊張がほぐれるよう一緒に遊んだり優しく声を掛けたりしていきました。競技では自分たちの役割を行いながら、子どもたちを応援して盛り上げたり、寸劇で子どもたちを引き込んだりして、参加した子どもたちだけでなく、保護者の方にもとても楽しんでいただけて良かったです。



今回の振り返りを行い、良かった点や改善点をしっかりとめ、今後の活動や自分が現場に立った時に生かしていきます。



短大 福祉学科 児童障害福祉専攻 2年 小坂 ゆま  
千葉県立土気高等学校 出身

### ～卒業生からのメッセージ(保育士)～

私は、千葉市の保育園に勤めて4年目になります。現在は4才児クラスを担当しています。想像以上に大変なことがたくさんありますが、なによりも子どもたちの笑顔を間近で見られることに喜びを感じています。

学生時代は本当に保育士になりたいのか悩むこともありましたが、母園での実習を通して、子どもたちと触れ合う楽しさ、嬉しさを感じて改めて保育士をめざすきっかけとなりました。

御縁があり母園に就職することができ、今は元気いっぱい子どもたちと毎日楽しく過ごしています。就職にむけ不安もあるかと思いますが、たくさん悩んで決めた進路にはきっとたくさんの楽しいことが待っていると思います。学生の時間を大切に、ゆっくりと悩んでくださいね。



大学 発達教育学部 発達支援教育学科 4期生 時田 江李子(旧姓:渡邊)  
千葉県立若松高等学校 出身